

藤原ひろき

県政レポート

Vol.9 2015年

動!



4月3日告示、12日投票の統一地方選挙、県議会選挙において17,765票という大変多くのご支援をいただき、2期目の責任の重さを痛感いたしております。

今後も、豊川市選出県議会議員として、地域の発展はもちろんのこと、目の前にきている人口減少・超高齢化社会などの構造的な変化に伴うという大きな問題を真正面から見据えて、市民一人ひとりにご満足いただける政治に全力で取り組んでまいります。

豊川市はこう変わる

一県への要望

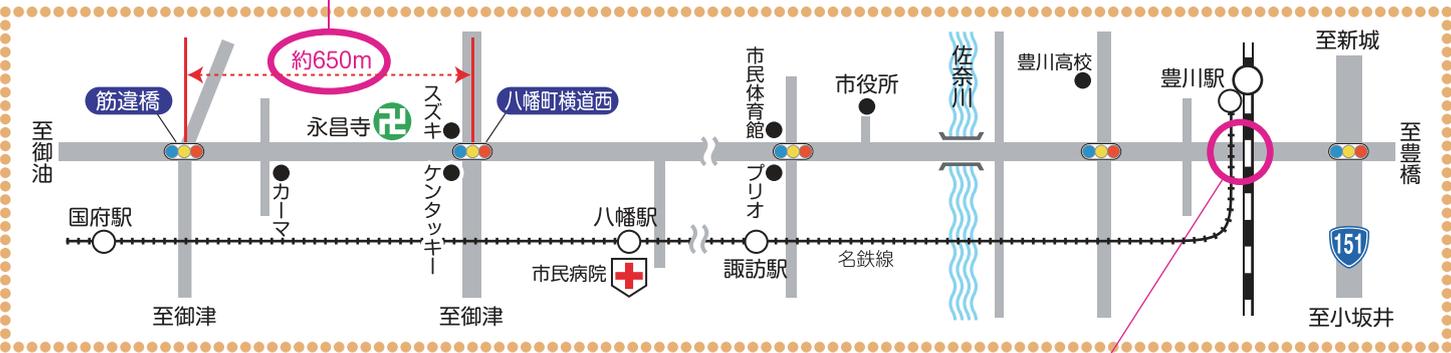


要望事項

回答

姫街道線は市の中心部を東西に走り、市街地活性化の果たす役割と平成25年5月開院の新市民病院へアクセスする重要な路線です。JRと名鉄の踏切部アンダー化と上宿交差点～東三河環状線間約1.7kmの4車線化の早期実現。

上宿交差点から東三河環状線間の約1.7kmのうち、筋違橋から環状線までの約650m区間（八幡工区）については、平成26年度に都市計画事業認可を取得し、今年度から用地買収を進めているところです。



回答

JRと名鉄の踏切部アンダー化は平成25年度から県、JR、名鉄の3者で調整を重ね、この6月に概ね合意しました。今後は鉄道交差点前後のアプローチ部を含む全体の調整を進めていきます。



藤原ひろき政策

政治は、誰がやっても同じではありません！

藤原宏樹

みなさまの声を
ぜひお聞かせください

お問い合わせ

藤原ひろき事務所

〒442-0857 愛知県豊川市八幡町横道93-1
TEL (0533) 56-8338 FAX (0533) 56-8321 E-mail: toyokawa_hiroki@yahoo.co.jp
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiiwarahiroki.mie1.net/t327805>

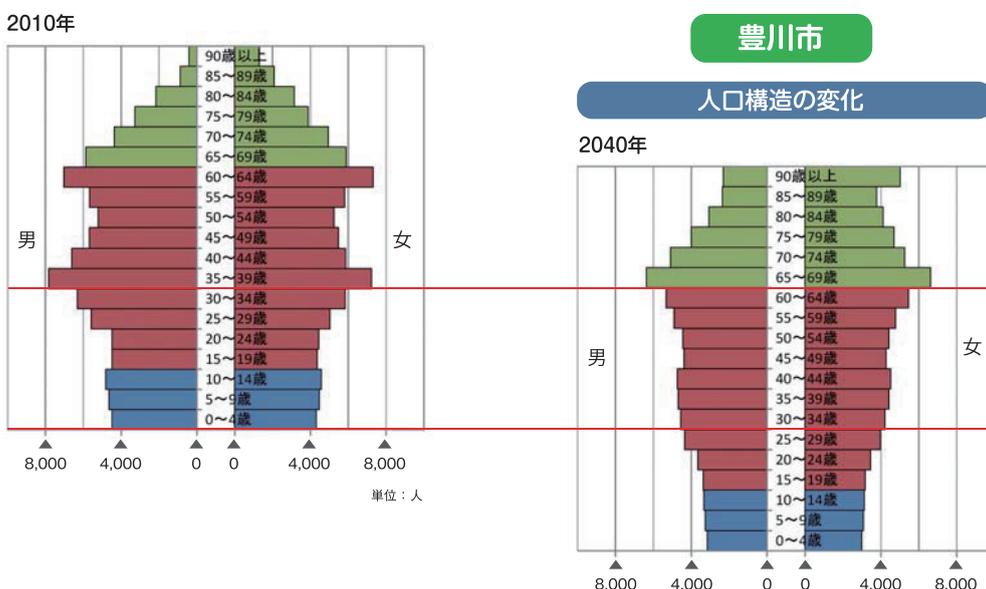
我々の世代が考えなくてはならないこと！ ご存知ですか 2025年問題と2040年問題



2025年問題とは、団塊の世代が2025年75歳以上になることで起こると予想される様々な問題のことです。第2次世界大戦直後のベビーブームで生まれた団塊の世代が、75歳以上の後期高齢者となることで、介護や福祉などの分野での混乱が予想されています。2025年になると、日本は人口の4分の1が75歳以上の後期高齢者、人口の3分の1が高齢者という超高齢者社会となり要介護や認知症、一人暮らしの高齢者が増加する一方現在も不足している介護職員がさらに少なくなり、老老介護や介護難民、孤独死などの問題の深刻化が懸念されています。

また、医療費などの社会保障費の給付金額も年間約150兆円に拡大され、財源問題がますます深刻になってきます。

そして2040年問題では更に深刻です。日本の総人口が1億人を切る頃が2040年です。高齢者人口は増え続けこの頃には現在ある約1,800ある自治体のうち約半数が消滅してしまうかもしれません。これは出産適齢期とされる20～39歳の女性の数が問題視されています。豊川市でもこの年代の女性人口の減少は免れないようです。



愛知県としては、「人口ビジョン」案と「総合戦略」骨子案を取りまとめ、愛知県の人口は2020年頃の約750万人をピークとしつつ、2060年時点においても700万人程度を確保できる見通しを示しました。

一方豊川市の人口は、2008年をピークに現象傾向にあり、2040年には15万9,000人程度となる見通しの中、約16万8,000人を目指していきます。

そこでこれから本市が将来を見据え、取り組まなくてはならない事業は、雇用を確保し若い世代が本市に定住をしていただくことが必要であります。そのためには、我が地域が遅れているインフラの整備を整え、企業さんが豊川市を進出の地として選んでいただける努力をしなければなりません。

同時に若い世代の子育て支援の仕組みも充実させ、結婚、出産、支える施策男女が共に仕事と子育てを両立できる環境を整備するための施策を進めなくてはなりません。



今年度は、建設副委員長として頑張らせていただきます。

